

その日、 町は ひとりぼっちに なっただー

「町から出られなくなっただー」

誰かがそうつぶやいた

台風12号に伴う豪雨に怯えた矢先の9月21日、

大型台風15号が日本列島を直撃した

21日の昼間、静岡県浜松市付近に上陸した15号は

県内各地で、荒れ狂うように雨風をまきちらした

この豪雨によって、

本町と外とをつなぐ交通網は全て寸断

たった一夜ではあるが、町は完全に「孤立」した

「集落」の孤立ではない

「町」が丸ごと孤立したのだ

台風、集中豪雨、地震などの大規模災害は

いつ起こるのか、どれほどの大きさか、誰にも想定できない

だからこそ、もう一度考えたい

私たちにできること

明日への防災

明日への 【あしたへのぼうさい】 防災

特集

本ページの写真は台風15号が直撃した9月21日の大井川(上長尾付近)。土砂を含んで茶色く濁り、荒れ狂うように流れる川は、全てを飲み込んでしまうような恐ろしさだった。ゴーゴーと音を立ててうねる様子は、普段のおだやかな大井川からは想像もつかない。

岩田軍治さん(崎平)



私たちが週2回、グラウンドゴルフを楽しんでいる小長井区生涯スポーツ広場は、台風15号の影響で倉庫が破損したため急ぎ直しました。グラウンドは一面に泥が覆っていました。自分たちでやれることから、一日も早い復旧を目指します。

和田章司さん(崎平)



2つの台風で、大井川の水が堤防を乗り越え、生涯スポーツ広場に流れ込みました。あとには大量の泥と、大量の流木がグラウンド内に残されました。これほど泥が入り込んだのは初めての経験かも。一日も早くプレー再開させたいですね。

流木が散乱する小長井区生涯スポーツ広場



台風15号襲来から一夜明けた22日、町内の至るところに豪雨のつめ跡が残っていた。小長井地区の生涯スポーツ広場ではグラウンド一面に泥がたまり、その端には大きな流木が散乱していた。堤防を越えて、大量の水が流れ込んだためだ。広場を歩くと一面が柔らかい泥。その向こうに目をやれば、堤防裏の土が大きくえぐれていた。